

内閣参質第一八号

昭和二十五年二月十八日

内閣総理大臣 吉田 茂

参議院議長 佐藤 尚武殿

参議院議員栗山良夫君提出電力割当等に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

參議院議員栗山良夫君提出電力割当等に関する質問に対する答弁書

一、昭和二十四年度第四、四半期における(イ)業種別、地域別の標準電力量の割当内訳及び(ロ)標準電力量に相当する水、火力発電量の内訳は別紙のとおりである。

二、学校、病院等で国又は公共団体等の経営している公共的施設のものに対しては実際に料金を適用する場合の緩和方法について研究していたが、差当り二月分については標準料金を適用する電力量を追加割当することとしたから一応救済し得ると考える。将来の問題としては使用基準を改正すべく目下検討中である。

三、原則として標準電力量の割当増減をしないことは現在でも変りないが、昭和二十四年度第四、四半期の計画においては、水力発電量の予想に多少の見込違いがあつたので二月分の供給力及び標準電力量を一部修正変更することとした。

四、農事用電力のうち灌漑排水等については、先般割当電力量によつて調整すると申したが、第四、四半期においては計画量の枠内において全国で二、三九〇万キロワット時の調整のための保留を織込んであり、この運用については灌漑排水は優先的に取扱うよう出先機関に指示してある。

昭和二十四年度第四・四半期需給計画 (その一)

(單位、000KWH石炭屯)

仙 台 東 京 名 古 屋 大 阪

本州中央部
小計

一、供給力

1 総計

A 水力

四、九七六、八〇〇

B 火力

四、七二二、一〇〇

三、六四一、六〇〇

C 地帯間融通

2 消費 石炭

(三五三、一〇〇)

二、割当量

1 進駐軍

四〇〇、一六六

一、四三〇、三六六

六〇九、八八〇

九二、八九三

三、五五三、三三五

2 業務住宅用

一九、〇八一

一三六、四三三

三、五三三

四九、七九四

三、七、八三九

3 小口産業用

一〇六、〇八二

三三八、六〇八

一、二六、三〇七

一、八七、六五一

七、四八、六四八

4 特定大口産業用

五、七六八

二六、六五五

一〇七、九四三

一、九六、三六六

六、三〇、六三二

5 大口産業用

二、六七三

三六、四八一

一、九五六

三三、九〇八

九三、〇二七

三、保留分

一九、五四三

六四七、一七〇

三、五、一五三

四、四、一七四

一、六六三、〇三九

四、余剰電力

一三、〇〇〇

(五五、一〇〇)

(その二)

広島 四国 福岡 札幌 全 国

一、供給力

1 総計 四七、二〇〇 二七三、五〇〇 九七三、四〇〇 二九〇、四〇〇 六、九九九、三〇〇

A 水力 四〇〇、八〇〇 三三六、五〇〇 四八三、一〇〇 二七、一〇〇 六、〇五〇、七〇〇

B 火力 一〇九、四〇〇 三四〇、〇〇〇 四六七、三〇〇 七三、三〇〇 九四八、六〇〇

C 地帯間融通 (一三三、〇〇〇) (十三三、〇〇〇)

2 消費石炭 (一三六、七〇〇) (三三、四〇〇) (三九三、八〇〇) (八五、〇〇〇) (九〇〇、〇〇〇)

二、割当量 三三六、六〇七 一八六、四七六 六九〇、八九三 二〇五、一八六 四、七三三、四二四

1 進駐軍 一六、〇三六 二、二五二 二七、九五二 三、六三九 二七七、六九七

2 業務住宅用 八五、四九 四九、一〇九 一三三、三三九 四八、三三七 一、〇五四、九六〇

3 小口産業用 五三、四三三 三九、六三三 五五、一六三 二六、二九三 七、六四、四〇五

4 特定大口産業用 一八、六〇〇 四、八〇五 三七、〇九二 七、六九一 一六二、二八二

5 大口産業用 一五五、八六九 一〇〇、六三〇 四四七、三五八 二二九、二四六 二、四八五、一四一

三、保留分 一、八〇〇 九〇〇 七、二〇〇 一、〇〇〇 三、九、九〇〇

四、余剰電力 (三、〇〇〇) (三、〇〇〇) (三、〇〇〇) (三、〇〇〇) (五七、一〇〇)

昭和二十四年度第四・四半期需給計画(一月) (その一) (単位、000KWH石炭屯)

仙 台 東 京 名 古 屋 大 阪 本州中央部

一、供 給 力

1 総 計

A 水 力

B 火 力

2 消費石炭量
3 地帯間融通

二、割 当 量

1 進 駐 軍
2 業務住宅用
3 小口産業用
4 特 定 大 口
5 大口産業用
三、保 留 分
四、余 剩 電 力

1 進 駐 軍	六、六四	四六、七一	七、〇五	一六、四六	七、八五九	一一四八、六九四
2 業務住宅用	三七、八九	一五、六九	四〇、六五	六四、五五	二五八、七四三	
3 小口産業用	一八、八三	八七、八五	三六、五三	六五、八三	二〇九、〇七四	
4 特 定 大 口	七、三〇七	一三、〇九四	三、九五三	七、四二七	三〇、七一	
5 大口産業用	六九、七九	三二、七五九	一一九、七三	一六三、〇五七	五七三、二三八	
三、保 留 分					四、五〇〇	
四、余 剩 電 力						(八、〇〇〇)
1 総 計						二、三三七、四九九
A 水 力						一、六九〇、六〇〇
B 火 力						二、〇八九、七七七
2 消費石炭量						一、五八六、〇〇〇
3 地帯間融通						一四八、三三三
						一〇四、六〇〇
						(一〇、三三三)
						(九、六〇〇)

(その二)

広島 四国 福岡 札幌 幌 全 国

一、供給力

1 総計

一九七、一〇一
一六四、五〇〇
一九九、四五六
三三六、四〇〇
二〇〇、四二七
三、〇六三、二六九
二、七七三、〇〇〇

A 火力

一七五、二九四
一三三、五〇〇
一七五、一〇三
七四、五〇〇
二五三、七七一
七九、四三四
二、七二一、二七九
二、〇一七、〇〇〇

B 水力

二一、八〇七
四九、〇〇〇
一七、二四三
一三七、七五三
一六三、〇〇〇
四〇、九三三
三五〇、九九〇
三五六、〇〇〇

2 消費石炭量

(二七、〇三九)
(六、二〇〇)
(二、八六四)
(一〇四、七〇〇)
(二、八五九)
(二七、一〇〇)
(二七、七六三)
(三、四〇、四〇〇)

3 地帯間融通

(一七、〇〇〇)
一〇九、九五三
三三、〇七三
三三三、二四八
七〇、五八一
一、六三四、五九一

二、割当量

1 進駐軍

五、五三四
六三六
九、三二六
一、二六八
九三、五二三

2 業務住宅用

二八、八〇九
一七、二八二
一七、二八二
四三、〇二六
一七、一六九
三、六五、〇一八

3 小口産業用

一七、七四四
一〇、一五二
一八、六九一
八、九九七
二、六四、六七七

4 特定大口

六、三五七
一、五七六
一三、六四一
二、六五八
五三、九二三

5 大口産業用

五、六三三
三三、四三八
一四八、六七四
四〇、四九九
八四七、四七〇

三、保留分

六五〇
三〇〇
二、五〇〇
三五〇
八、三〇〇

四、余 剩 電 力

(八、〇〇〇)

(註) 1、供給力欄中上段は実績下段は計画

2、供給力欄中下段の數値は標準電力量に対する計画發電量を、上段の數値は追加使用分を含む、総發電量の実績を示す。

(二月) (その一)

一、供 給 力

仙 台 東 京 名 古 屋 大 阪 本州中央部

1 総 計

一、五三五、八〇〇

A 水 力

一、三六五、八〇〇

B 火 力

一、九〇、〇〇〇

C 地 帯 間 融 通

(一五三、五〇〇)

2 消 費 石 炭 量

一、〇三八、八六四

二、割 当 量

1 進 駐 軍

六、一九〇

四五、三四〇

七、六七二

一七、九三三

七、二四

2 業 務 住 宅 用

三四、三三

一一、三三五

三七、六七

六一、一〇四

三四六、三七

3 小 口 産 業 用

一八、一七

八七、三〇八

三五、六三

六五、二四七

二〇六、二九六

4 特定大口産業	六、七三	一一、六七〇	三、八〇八	七、三九七	二九、六六八
5 大口産業用	五、〇〇八	一八四、六六七	九九、四九九	二六、三三五	四七九、四九九
三、保 留 分					四、〇〇〇
余 剩 電 力					
(その二)					

広 島 四 国 福 岡 札 幌 全 国

一、供 給 力					
1 総 計	一五三、八〇〇	八四、〇〇〇	三三〇、三〇〇	九〇、四〇〇	二、一五五、三〇〇
A 水 力	二九、八〇〇	六九、六〇〇	一四〇、〇〇〇	六、八〇〇	一、七六三、〇〇〇
B 火 力	四〇、〇〇〇	一四、四〇〇	一五五、三〇〇	三三、六〇〇	三九三、三〇〇
C 地帯間融通	(一)七、〇〇〇		(十)七、〇〇〇		
2 消費石炭量	五〇、〇〇〇	(一)三、七〇〇	(一)三、〇〇〇	(一)七、六〇〇	三七四、八〇〇
二、割 当 量	一〇一、九三三	五七、八四七	二四、三三四	六三、九〇七	一、四七六、八三五
1 進 駐 軍	五、五二七	八二六	一〇、〇三三	一、三三七	九四七、四七七
2 業務住宅用	二六、四三三	一五、六七三	三九、四四八	一五、三五一	三四三、二八一
3 小口産業用	一七、三三一	九、八一六	一八、一七〇	八、六四四	二六〇、二六七

4 特定大口産業	五、八五七	一、五五六	二、七七七	二、三九九	五、二五七
5 大口産業用	四、八〇五	二九、九七七	一三四、六六六	三、二五六	七、七二七
三、保 留 分	五〇〇	三〇〇	二、一〇〇	三〇〇	七、三〇〇
余 剩 電 力					
(三月) (その一)					

仙 台 東 京 名 古 屋 大 阪 本州中央部

一、供 給 力

1 総 計 一、七六〇、四〇〇

A 水 力 一、七六〇、四〇〇

B 火 力 |

C 地帯間融通 |

2 消費石炭量 |

二、割 当 量 一、一六四、七六七

1 進 駐 軍 六、二七七 四四、三三一 七、七九三 一五、四六五 七三、八五六

2 業務住宅用 三、九七七 一〇九、五五四 三六、〇三三 六、九九三 二四三、五七九

3 小口産業用 一七、八〇七 八六、三三一 三五、六九九 五、二六六 二〇五、四二二

4 特定大口産業用	七、五七三	二二、七七七	四、一九五	八、〇八四	三三、五六八
5 大口産業用	七、八二六	三〇四、七四四	一三三、〇三〇	一六四、六三二	六〇九、五五二
三、保 留 分					四、五〇〇
四、余 剩 電 力					(四七、一〇〇)

(その二)

広 島 四 国 福 岡 札 幌 全 国

一、供 給 力					
1 総 計	一六九、九〇〇	九七、〇〇〇	三三三、七〇〇	一〇〇、〇〇〇	二、四七二、〇〇〇
A 水 力	一五八、五〇〇	九四、四〇〇	一八四、七〇〇	七三、七〇〇	二、二七一、七〇〇
B 火 力	一一〇、四〇〇	二、六〇〇	一五〇、〇〇〇	二六、三〇〇	一九九、三〇〇
C 地帯間融通	(一九、〇〇〇)		(十九、〇〇〇)		
2 消費石炭量	二五、五〇〇	二、五〇〇	一三六、五〇〇	三〇、三〇〇	(一八四、八〇〇)
二、割 当 量	二六、六八	六五、五五六	二四四、四三二	七〇、六九八	一、六六二、〇七
1 進 駐 軍	四、九五	七九	八、六三	一、二四	八九、四三七
2 業務住宅用、	三〇、五七	一六、二五	四〇、八六五	一五、八〇七	三、四六、六六三
3 小口産業用	一七、六八	九、七六	一八、三〇一	八、六四二	二、五九、四九九

4	特定大口産業用	一六、五六	一、六七	一三、六七	二、六三	五六、二五
5	大口産業用	五七、四三	三七、三五	一六三、八九	四三、四九	九二〇、三九
三、保	留分	六五〇	三〇〇	二、五〇〇	三五〇	八、三〇〇
四、余	剩電力		(三、〇〇〇)			(四九、一〇〇)